

# 本願寺新報

hongwanji journal

## 1月10日(金曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社  
京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)  
〒600-8501 本願寺出版社内  
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

### 茶道 藪内家燕庵

京都市下京区西洞院正面下ル  
http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

### 新しい「領解文」 (浄土真宗のみ教え)

南無阿彌陀仏  
「われにまかせよ そのまま教う」の 弥陀のよび声  
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ  
「そのまま教う」が 弥陀のよび声  
ありがとう といたいて  
この愚身をまかす このままで  
救い取られる 自然の浄土  
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに  
宗祖親鸞聖人と  
法燈を伝承された 歴代宗主の  
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり  
少しづつ 執われの心を 離れます  
生かされていることに 感謝して  
むさばり いかに 流さず  
穏やかな顔と 優しい言葉  
喜びも 悲しみも 分かち合い  
日々 精一杯 つとめます

### 赤光 白光

ノルウェーのオスロで開かれた日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)のノーベル平和賞授賞式で、日本被団協代表委員の田中照巳さん(92、長崎市出身)が演説した。13歳で被爆したこと、核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共にかんばりましょう」と呼びかけた。20分間の演説は会場の大きな拍手と一緒に、全世界に発信された。

▼同じ代表委員の箕牧智之さん(82)も授賞式に出席していた。広島県北広島市・明覚寺の門徒で、本紙11月20日号にも登場いただいた。箕牧さんが取材で強く語られたのは、先人たちが受け継いできた核廃絶への思い。そして、原爆被害者の平均年齢が85歳となり、戦争体験者が減っていく中で、その思いを若い世代にも伝承してほしいという願いだった。

▼日本には、箕牧さんたちの思いを受け継ぐ高校生平和大使という若者たちがいる。受賞決定の記者会見で箕牧さんの隣に座っていた生徒たちもその一員だ。授賞式には別の高校生平和大使が駆けつけ、現地の高校・大学で原爆被害や平和活動の思いを訴えた。世界の若い世代に伝承される瞬間にも見えた。

▼戦後80年の節目の年を迎えた。あらためて、これから生きる若い世代が、戦争体験者の平和を願う思いを知る大切な年にしたい。高校生平和大使のようにつなげる1歩を踏み出してほしい。箕牧さんは言う。「平和賞はゴールではなくスタートライン」。

# 笑い声が帰ってきた



### 園舎を修復

能登半島地震で園舎が被害を受け、近くの小学校の空き教室を「仮園舎」にしてきた石川県穴水町の光琳寺保育所(長谷川遼磨園長)が仮園舎を修復し、12月2日から境内に隣接する元の園舎での保育を再開させた。長谷川園長は「被災から1年。ようやく元の園舎を利用できるようになった。保護者から『仮園舎には行きたがらなかった子が、元の園舎に通えるようになって』といううれしい声も聞いている」という言葉も聞いた。無事復旧できて本当によかったと安堵の表情で語った。

## 石川県穴水町・光琳寺保育所

月初めから同町・向洋小学校の4つの空き教室を間借りして保育を継続させた。長谷川園長は「震災から間もない中で何とか保育を再開でき、卒園式も行った」とほっと息をついた。ただ、クラスが2つしか分かれず給食についても保育所の調理場で調理してから車で運んだり、先生方には大変な負担をかけた」と振り返る。

工事が着工できたのは昨年9月。そこから約半年かけて、石垣をコンクリートの擁壁に改修し、亀裂の入った体育館は床下にコンクリートを流して全面張り替えるなどした。

## 能登の現状を聞き学ぶ 北海道仏教連盟 被災寺院など訪ね研修



「実際に自分たちで見て感じた、被災地の今を伝える」と、北海道教区仏教連盟(茶話会)などの宗派ボランティア活動について、スタッフから説明を受けた。また、能登半島北部の能登町を訪問。地震と津波に襲われた法栄寺では、更地となった境内に唯一残る建物で、本堂から移された本尊に手を合わせた。この後、弘崎正住職と坊守の弘美さんが記録してきた写真43枚を見ながら、地震後の11カ月の歩みを聞いた(写真右)。ほかにも、甚大な被害を受けた同町の松岡寺と高瀬寺を訪れた。

「実際に自分たちで見て感じた、被災地の今を伝える」と、北海道教区仏教連盟(茶話会)などの宗派ボランティア活動について、スタッフから説明を受けた。また、能登半島北部の能登町を訪問。地震と津波に襲われた法栄寺では、更地となった境内に唯一残る建物で、本堂から移された本尊に手を合わせた。この後、弘崎正住職と坊守の弘美さんが記録してきた写真43枚を見ながら、地震後の11カ月の歩みを聞いた(写真右)。ほかにも、甚大な被害を受けた同町の松岡寺と高瀬寺を訪れた。

# 総長に池田行信氏

## 総務は荻野、藤山、中尾各氏 副総務に河原氏



任期満了に伴う宗委議員 選挙が行われ、池田行信氏、河原善雄氏を副総務に指名、新総務を発足させた。池田総長は12月20日付 宗会(3面に記事)で総長、荻野昭裕氏、藤山憲照氏、中尾史峰氏を総務に、河原善雄氏を副総務に指名、新総務を発足させた。池田総長、各総務の所管、役員、寺院活動支援部過

略歴 副総務の担当 略歴は次の通り。(〽)は関連役職。  
◆池田行信総長(宗派代表役員) 統一総合企画室、浄土真宗本願寺派総合研究所、所務部(文書、人事) 〽随行長  
◆荻野昭裕総務(宗派責任役員) 〽寺院活動支援部過住職、71歳。  
◆藤山憲照総務(宗派責任役員) 〽宗務組織改革推進本部、〽宗務組織改革推進本部、〽宗務組織改革推進部長、和歌山県海南市・浄國寺住職、69歳。  
◆中尾史峰総務(宗派責任役員) 〽重宝プロジェクト推進室、〽宗教教育、社会情報、門信徒教化部、寺院活動支援部(組織教化)、所務部(法制・訟務、職、68歳。

契約事務(子ども・若者) 縁づくり推進室(宗門総合振興計画)に関する、宗門のDXの推進に関する。高知県南国市・西福寺住職、72歳。  
◆河原善雄副総務(社会情報、門信徒教化部) 寺院活動支援部(組織教化) 推進室長、宗門総合振興計画に関する、全日本仏教会に関する、宗門のDXの推進に関する。京都市東山区・真寶寺住職、68歳。



### 表具師の技で鮮やかに蘇る表装 古典 寺宝継承の匠技

寺院用御影修復/在家用御本尊御洗濯/掛軸製造/襖/屏風/額/肖像画/日本画制作

西田松月堂  
京都市下京区西本願寺前 TEL.075(371)9429 FAX.075(341)4609

### 薫玉堂

加羅・沈香・練香・匂い袋  
香老舗 創業文禄三年(1594年)

京都市下京区堀川通西本願寺前  
TEL.075(371)0162

### 湯葉 弥

京ゆば  
創業元禄初年  
大笹屋  
京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6  
TEL 075-751-6889  
FAX 075-751-7304  
E-mail:m@ozasaya.com

### 大笹屋

創業元禄初年  
大笹屋  
京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6  
TEL 075-751-6889  
FAX 075-751-7304  
E-mail:m@ozasaya.com

### オリックスファシリティーズ株式会社

施設管理は、  
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 京都市下京区大宮通仏光寺下五坊大宮町9-9  
TEL 600-8385  
TEL 075-8411-7550(代表)  
FAX 075-8411-7666

### 漫画 親鸞さま

岡橋徹栄  
A5判/228頁  
1100円税別

難しい本や史料が、苦手な方も、親鸞聖人の生涯、その苦勞と偉大さを漫画で読める。

本願寺出版社  
0120-464-583 075-341-7753  
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)  
https://hongwanji-shuppan.com/